

## 介護状況に関するアンケート結果概要 (アンケート実施期間:2015年10月)

- ・介護経験がある者はほとんどおらず、また現在介護を行っている者はいない
- ・将来的に介護を行う可能性のある者が多く、そのほとんどが不安を感じている
- ・介護に対する不安としては、「勤務先の介護に関わる支援制度がない、もしくはわからないこと」、「介護休業などを職場で取得して仕事をしている人がいないこと」、「自分が介護休業を取得すると収入が減ること」、「適切な介護サービスを受けられるかどうかわからないこと」等の理由が多い
- ・介護と仕事の両立については、可能と考える者と不可能と考える者が同数
- ・介護について職場の上司や同僚に相談出来る雰囲気があるかどうかについては、出来ると考えている者が多い
- ・将来介護が発生した場合の働き方については、ほとんどの者が「介護休業や介護の為の短時間勤務の支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する」働き方が望ましいと考えている
- ・自身が公的介護保険制度の被保険者であるかどうかについては、半数以上が不明と回答
- ・公的介護保険制度についての認識は非常に乏しい
- ・地域包括支援センターについては多くの者が名称も利用方法も知らない
- ・社内の介護支援制度については、ほとんどの者が存在を認識していない
- ・介護休業期間についての考え方としては、「介護休業期間は主に仕事を続けながら介護をする為の体制を構築する期間である」と「介護休業期間は介護に専念する為の期間である」という意見がほぼ同数となった
- ・残業時間については、「恒常的に残業がある」、「週に半分は残業がある」という意見が多い
- ・有給休暇については、半数以上が概ね希望通りに取得出来ている
- ・会社が行っている長時間労働の削減や業務効率化の取り組みについては、「業務簡素化や要員配置の見直し等の業務処理体制の改善」や「仕事のスケジュール管理や労働時間の使い方に関する一般社員への教育」への認知が高い
- ・職場でのコミュニケーションについては「上司」、「同僚や部下」共に概ね良好な関係を構築している

株式会社パイロット